

第1回富山市総合計画審議会活力部会 概要

場所：富山市役所議会棟8階 4委員会室

日時：平成17年10月26日（水）

10:00～12:00

1 開会

2 部会長あいさつ

※ 長尾部会長 あいさつ

- ・ 人口減少と少子超高齢社会が進行するなか、“活力”の源をどのように創っていくのか、議論してまいりたい。

3 部会長職務代理者の指名について

- ・ 長尾部会長より、部会長職務代理者に 酒井 富夫委員を指名

4 今後の部会の進め方について

- ・ 事務局（富山市企画調整課長）より説明

5 議事

（1）部会での主要検討事項について

（2）評価指標等について

<概要>

（部会長） この活力部会での主要検討事項について各委員の意見をお願いしたい。

（委員） この部会は、市として何をしていくのか、その方向性を議論する場であり、個別事業陳情の場ではないことをまず明確にしておく必要がある。

人口が減少していくなか、市民が幸せに暮らせるためには、まず所得が必要である。もう1点は、誇りを持つことが必要である。この2点を整理しながら進めるのがこの活力部会の役割と思う。

この2つの側面に市民と民間と行政の役割分担を見据えて議論したい。

（部会長） 検討する内容は経済的側面と文化的側面の両面がある。この2つをいかにバランス良く発展させていくか、また、役割分担を意識して進めていきたい。

（委員） 活力あるまちづくりのためには、まず望ましい理想像を掲げ、市民と行政の役割分担、更には行政でも国・県・市の役割分担を明らかにし、そこから最終的に何を重点化していくのか議論するべきである。

(部会長) 望ましい理想像をイメージし、その理想の中で、市や民間としてそれに向かって行動することを検討するべきである。

(委員) 合併前の旧市町村の総合計画を見ると、共通のビジョンが見られるが、そうでない部分もある。まずはそれぞれをリンクさせることが当面は必要ではないか。

また、市民意識調査の結果では、市民の意識、期待にばらつきがあるのでオーソライズする必要がある。特に農林業・商工業の関係にはばらつきがあると思われる。

(部会長) 合併前の市町村の総合計画の調整と、この広がった市域で市民のコンセンサスをどう得るのかも重要な課題である。

(委員) まずは、合併してよかったと思える市にしなければならぬ。
現在の各地域で光っているものが必ずある。まずはこの光ったものを検討し、それらを結び付けることが、業種ごとの活力になると思う。

(部会長) 市民が合併して良かったと思える施策の方向付けは大前提である。各地域の特性を相互に連携させ、相互に活かすことで相乗効果を導き出し、活力の資源として使っていかなければならない。

(委員) 人口減少の傾向のなか、雇用の場があるということは人口が増えるまではいなくても現状維持できるということである。そのような視点も考えられるのではないか。

雇用の場創出のためにも、単なる交流人口増を図るのではなく、3次産業的な雇用の場が増えるところまでもっていかなければならない。

(部会長) 富山市の事業所数は H13 まで示されているが、それ以降のデータがあれば次回に用意していただきたい。

(事務局) 了解

(委員) 農林水産業の視点から見ると、地域の力、村の力（自治力）が弱ってきている。まずはそこに、てこ入れが必要ではないか。これはあらゆる産業の原点である。

知恵を出す力、これについても地域のまとまりの中から出てくる。

(部会長) 知恵の源泉は地域の力である。この視点は農村に限らず、都市部でも同様である。

(委員) 活力を生み出すのは、若い力である。少子化傾向の中、若い力をどう生かすのかが重要である。

(委員) 活力とは、まちの魅力である。魅力とは住民と観光客両方に感じられてこそである。魅力あるまちには、経済力がベースとしてあり、観光客を受け入れてくれる風土がある。

総合計画を検討するにあたっては、現実をどれだけ見ているのかが重要。

能美市は、若年人口増加率が北陸3県で1番である。大学・民間企業の連携により企業誘致に成功し、そこから得た財源を中学生以下の医療費にあて、無料化している。また、よく富山と比較される金沢であるが、金沢のまちの顔は主婦・中高生・サラリーマン・学生と時間によって変化する。富山のまちの顔は1つしかない。若年人口増加については、行政として何ができるのかを検討しなくてはならない。

地域によって個性があって良いと思う。九州新幹線の例をとれば、熊本は福岡のベッタタウンでよいとした。あえて競争するのではなく、共生するという方法をとった。このような視点もある。

富山はチューリップや寒ブリという強力なブランドも持っている。このブランド力をどう活かすのか、またどのように多様性の担保をとるのか、選択と集中のバランスが難しい。

(委員) 観光案内所の現状を見ると、ホスピタリティに欠けている。これをどのようにしていくか検討しなくてはならない。

(委員) 富山は開業率が低い。県民性と思われるが、規模を重視するあまり、守りに入っているように感じられる。比べて石川はオンリーワンを目指し、独立意識が強く規模は意識していない。

産業構造で見ると、富山は工作機械と金型産業が多く、このような構造は大都市圏以外では富山だけであり、非常に面白い。このような現実を把握し、行政として何をしていくのか議論が必要である。

(委員) 金沢と富山の対比は常にあるが、新幹線開業に伴い、東京に吸い取られるものはある程度覚悟しなくてはならない。逆にそれ以上のものを得なくてはならない。対東京を意識した計画にすべきである。

例えば、観光と定住の中間、月に1回から2回は富山で過ごすというライフスタイルも考慮しなくてはならない。それにはもてなしの心が必要である。

(部会長) では、ここで、評価指標について皆さんのご意見を伺いたい。

(委員) 山岳観光として有峰の観光客数の指標はあるのか。

(事務局) データとしてあれば、今後提示したい。

(委員) 観光入り込み客数などは、指標となる数値の取り方に疑問を感じている。観光都市を目指すならば、目指すなりのデータの取りかたをしなくてはならない。

市民意識調査についてもこのサンプル数で本当に市民の意識が見えるのか疑問である。

数値の取り方を間違えると、方向性が大きくずれることになりかねない。常に実態を踏まえ、フィルターにかけることが必要である。

(部会長) 高山では旅館の95%がデータ提供しており、データが非常に正確である。指標を設定するのあたり、データをどのように取っているのかも重要である。

(委員) 商業統計の関係のデータ、特に商業販売額なども必要である。

(部会長) 商業統計だけでなく、工業統計のデータも必要と考える。

(委員) 滞在型観光を計る指標を検討する必要がある。富山の全国ブランドである“おわら”、“くすり”、“立山”を活用しないと滞在型観光は難しいと思う。例えば、くすりを活用した薬膳などを高齢者が楽しめるなど。

(委員) 活動指標と成果指標に、さらに投入財源の指標を加える必要もあるのではないか。

(委員) 活動指標と成果指標にある種の上下関係を整理するべきである。目標に対する手段と、成果指標に対する活動指標は同じと考えてよい。並列した表記は良くないのではないか。また、活動指標に縛られると不毛な結果になる可能性があるので注意しなくてはならない。

(委員) 富山県の総合計画と富山市の総合計画との調整はされているのか。県との連携はどうなっているのか。また、今後はどうなっていくのか。

(事務局) お互いに連携を取りながらというのは基本である。施策の整合性は必要と考えている。今後出来るものから調整していきたい。

(委員) 合併により富山市と飛騨市が隣接することで連携もしやすくなった。富山市外または富山県外からの視点も加えることが施策として重要である。

(委員) 富山大学の統合により、高岡市にも富山大学のキャンパスができたことで、高岡市の若い力を富山で活用することもできる。富山市内の資源で完結しよ

うとせず、飛騨や高岡などの資源も活用する視点も計画に必要と考える。

(部会長) 高山の集客力を富山でどう生かすか、高山と富山お互いの足りないところをどう補完していくかという視点や、広域的な評価の指標も取り入れる必要がある。

(委員) 飛騨との連携は重要である。

(部会長) 広域的な指標をどう組み入れるか、指標をどう作るか検討しなくてはならない。

(委員) 農業者は工夫していかななくてはならない状況にある。農業者の工夫についてどう評価するのか。例えば、有機農業の面積やインショップの把握、グリーンツーリズムなど新しい時代の芽を評価し、伸ばしていくべきである。

食料自給率についても、富山は野菜類の生産が非常に小さい。市内の自給目標なども必要と考える。

(部会長) 新創業につながるような指標、育てる指標も必要であると考ええる。

(委員) 山を越えると農業構造も大きく変化する。隣接県とどう連携をとって食の構造を変えていくかという観点からも広域連携は重要である。

(委員) 石川県は、生産構造の多様性をうまく連携させている。富山県は集落営農で多様性をつぶしてしまっているように感じられる。

(委員) 石川県の農業法人は事業展開が大きいのは事実である。

(委員) 開業率についてもこの事象と同様である。

(部会長) 多様性を評価できる指標も必要である。

今回の議論を踏まえて次回さらに検討していきたい。本日はありがとうございました。

(以上)

6 閉会